

けんしんが 6月からスタートします。

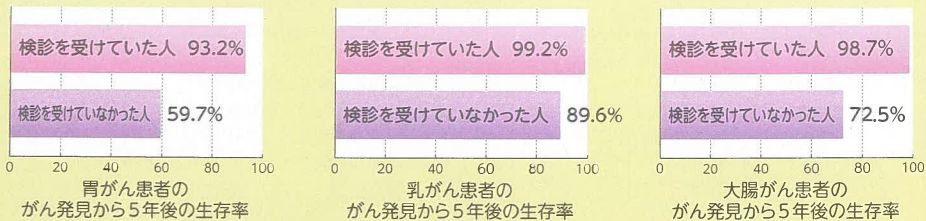


詳しい内容については、配布されている「けんしんガイド」をご覧ください。

がんは早期発見と治療が大切！

がんが発見された人で、検診を受けた人と受けていない人を比べると、生存率に大きな差があります！
検診で早期発見できれば、5年後の生存率は90%以上です。

(岡山県におけるがん登録2006) データ使用



岡山市のがん検診によって、過去3年間(平成19~21年度)で、

胃がん50名が
早期がんで発見

乳がん68名が
早期がんで発見

大腸がん92名が
早期がんで発見

岡山市民12,000人に、がん検診に関するアンケートを行いました。

その結果から…

●女性の受診率は男性より低いことがわかりました。

- 市のがん検診と職場などでのがん検診をあわせた受診率は、胃がん・肺がん・大腸がんとも女性のほうが男性よりも低かったです。
- 特に女性の乳がん検診の受診率は低かったです。
- 乳がん・子宮がんの検診受診率は40歳未満は低く、乳がんの自己検診や、子宮頸がんの原因ウイルスについての知識も、まだまだ普及していないことがわかりました。

●男性で最も罹患者の多い胃がんの検診を受けた方は半数でした。

●検診を受けたくない理由は、「健康に自信がある」「必要なときはいつでも受診できる」が多かったです。

●検診を受けるつもりはあるのに受けていない理由は、「市の検診を知らなかった」「受け方が分からなかった」が4分の1でした。

- 多くの方に受けていただけるよう、岡山市のがん検診を分かりやすくお伝えするため、『けんしんガイド』を作成しました。
- がんは定期的に検診を受け、早期に発見し治療することが大切です。自分は大丈夫と思わずに自分のからだをまもりましょう。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】岡山市保健所健康づくり課 ☎086-803-1263

健康で豊かな生活をめざす
愛育活動の情報誌

2011.6

発行/岡山市愛育委員協議会
事務局/〒700-8546 岡山市北区鹿田町 1-1-1
岡山市保健福祉会館 2階
TEL 086-803-1263 FAX 086-803-1758



あいらずグループと共に
楽しい子育てを
めざして！
26年…



東日本大震災の報道を見聞きするとき、命の重さ・尊さと絆の強さを感じます。私達愛育委員も地域の人々の健康を支え、地域の人々の絆を強くする役目をこれからも地道に続けなければならない思いにかられます。



東日本大震災復興支援
岡山市民キャンペーンロゴ

最近のおやクラブの様子をおしえて!

「赤ちゃん訪問」で、おやクラブを知って…。「1歳くらいからの方がいい」と言われ、1歳になるのを待って入会しました。



ちょろちょろする2歳児と0歳児を抱え、入会は無理…。でも翌年、見学に行ったら「あいあいかや」自由気まま。みんな同じで安心しました。



岡山市おやクラブネットワーク 小野新会長、荻野旧会長にインタビューしました。

Q. 今、おやクラブはどんな活動をしているのですか?

A. 地域によって10人以下から、100人以上と会員数に差がありますが、年間計画に従って季節ごとの遊びや行事を行っています。愛育さんととの交流もほとんどの地域でしています。

Q. おやクラブに入ってよかったことは?

A. 同じ悩みを持つママ友がたくさんできて、すごく頼りになる。うちの子だけじゃなかったんだ…って安心できます。子ども自身も友達ができるし、入園しても友達がいっぱいいるので、泣かずに行ってます。

Q. 愛育委員に期待することは?

A. 少子化で会員数もどんどん減っているし活動範囲も狭まってきています。おやクラブだけでは地域のお母さんや子どもの情報が入らないので「赤ちゃん訪問」などで宣伝していただけたらうれしいのですが…。昨年、うちの地区では、その成果で5人の方から連絡がありました。

Q. 子育て中のお母さん方へのメッセージはありますか?

A. 今は核家族が多く、また閉じこもっている方や悩みを自分一人で背負い込んでいるという方も多くて。愛育さんが「赤ちゃん訪問」に来たときに、おやクラブのことを聞いてみてくださいね。勇気はいると思いますが、入園前の友達づくりのためにも、入っていただけたらと思います。

愛育委員会とおやクラブとの歴史

昭和30年代に、一地区(小串地区)の愛育委員会が、母親たちの勉強会としてつくったのが、おやクラブの始まりです。昭和50年代に入り、徐々に各地区に愛育委員会の支援によって、親と子の育ちあいとしてのおやク

ラブができました。今では、各おやクラブが、お母さん達の手で主体的に活動が進められており、愛育委員会も活動を見守る役にかわってきています。これからも、子育てしやすい環境づくりと一緒に考えていきたいと思います。

健康市民おかやま!

実践交流会

～こころをつなぐ健康なまちづくり～

今年も、「健康市民おかやま21」の推進のための実践交流会が、さん太ホールで行われました。

1部では、自殺予防を含めたこころの健康づくりへの取り組みを中心に、6地域6人の実践発表がありました。こころの健康には笑顔が大切なこと、そして地域で健康講座・ウォーキング・健康まつり等色んな健康活動をし、地域の各種、各年代層の人達がそれに参加することが、こころ・地域の絆となり、孤立・無縁社会をなくしていくことにつながると実践を通して発表されました。

2部は、市民の健康づくりを支援している4つの職種・専門職能団体の活動の実践発表が行われました。薬剤師会からは、「薬を知ること」について、喫茶飲食生活衛生同業組合からは、「喫茶店でのロコモ予防」について、フジアン岡山スポーツクラブからは、「介護予防事業」について、栄養士会岡山支部からは、「子どもの朝ごはん」について話されました。終わりに、吉田健男先生の助言・まとめがありました。

また、ホールの外では、活動を紹介するパネル・ポスター・作品が、たくさん展示されていました。多くの愛育委員の手でつくられた大作のキルトも、展示されていました。



あい探訪



石井学区

月1回開かれている赤ちゃんすこやか相談以外に年3回「なかよし保育園」をお借りして育児相談をしています。2名の愛育委員が身体測定などのお手伝いをしています。育児相談が終わってもなかなかお母様方が帰りません。というのも、石井学区は核家族の方が多いのでこの場所がコミュニケーションの場になっているようです。「こんにちは赤ちゃん訪問」の時でも長くて1時間から2時間くらいはお話をして帰ります。

その他に子育て支援委員にもなっているので年1回歯周病の紙芝居もさせて頂いています。これからも地域の健康のために協力していきたいと思っています。



大野学区

愛育委員会は年10回の定例会を開催し、その中の3回をおやクラブ(ピッコロ会)さんと合同交流会をしています。

6月は手遊び・わらべ歌・昔あそび・工作(かえるのお面作り)等、12月はクリスマス会。一緒に歌ったり、おどったりし、最後に手作りクッキーをプレゼントさせて頂いています。お母さん方にも大変好評で来年も…と。

2月はフリーマーケットの手伝い等子どもさん達と楽しく遊んでいます。「皆んな若返った気がするね」と喜んでいきます。これから子供達の実顔を楽しみにかかっています。



赤ちゃん訪問♥はじめての訪問から2年半…

2人目が欲しいと思っしたのは40歳目前の12月。なかなか授かりなかったので不妊治療を開始し、4月20日の私の誕生日に妊娠がわかりました。授かった命の尊貴・私との絆を強く感じました。



こんなに大きくなりました!



ai33号の2面に載っている当時生後2か月だった赤ちゃんも、2歳半になりました。その後の成長の様子をうかがいに再度訪問しました。

この2月には妹が生まれ、お兄ちゃんになりました。生まれたときは

3,260gだった体重は12kgになり、2月にはお姉ちゃんの着ていた赤いスキューエアで、家族と一緒にスキーに出かけました。最近では外で遊ぶことが多く、元気いっぱいの日です。

あのときもらった絵本は、お姉ちゃんにも読み聞かせしてもらい喜んでいましたが、今度は妹に読んであげるのぞと大切に使っています。」と話してくれました。



いっしょに

子育て楽しみませんか?

おやクラブでは、会員を募集しています。見学、入会希望の方は、地域のおやクラブ、愛育委員または、岡山市保健所にお問い合わせください。

気楽に、見に行ってくださいね。とてもにぎやかで楽しいクラブですよ!

